

5年

見立てる 言葉の意味が分かること 原因と結果

愛川町立半原小学校 中山 竜巳

単元の特徴(ねらい)とデジタル教科書の活用について

本単元では、練習教材・本教材にて論説文の構造について捉えたり、その構造に着目しながら文章全体の構成を捉えたりする活動を通して、要旨を読み取る力を身に付けさせたい。そこでデジタル教科書を活用し、内容の整理をしたり、文章の組み立てを確かめたり、動画資料を視聴したりすることで児童の理解を深めさせたい。

指導計画例 (全7時間)

学習活動	◇指導事項・指導上の留意点 ◆評価基準 (評価方法)	デジタル教科書の活用例 (数字は学習活動の番号)
<p>①「見立てる」を読み、論説文の構成をおさえ、各段落の役割を捉えさせる。</p>	<p>◇文章構成に着目して筆者の考えを捉えるようにする。</p>	<p>・「ワーク」の〈練習〉見立てるで整理しながら文章構成を捉えさせる。(①)</p> 
<p>②「見立てる」を読み、各段落の役割や構成に着目しながら文章の要旨を捉えさせる。 ・新出漢字の練習をする。</p>	<p>◆「見立てる」について、文章全体の構成を捉えて筆者の考えを把握している。</p>	<p>・新出漢字の筆順や読み方を確認する。(②)</p> 
<p>★③「言葉の意味が分かること」の大体の内容を確かめ、文章の組み立てを確認する。</p> <p>④「初め」と「終わり」の役割について確かめ、「中」で挙げられている事例と筆者の考えの関係を確かめさせる。</p> <p>⑤文章の要旨を150字以内でまとめさせる。 ・個人でまとめる。 ・グループのアドバイスをもとに書き直す。</p> <p>⑥筆者の考えや事例の示し方について、自分の考えをまとめさせる。</p>	<p>◇内容のまとめごと整理し、内容をおさえることで筆者の考えの中心を捉え、要旨をまとめられるようにする。</p> <p>・「Tサポート」のワークシートを使いながら、本文の大体の内容を確かめられるようにする。</p> <p>・筆者の考えのそれぞれの役割の違いについて捉えさせるようにする。</p> <p>・原因と結果の関係に着目して文章を読むことで、事例で述べられていることを理解させる。</p> <p>◆それぞれのまとまりの役割とまとまり同士の関係を捉えている。</p> <p>・筆者の考えの中心となる大事な言葉を見つけるためには、繰り返し使われている言葉や文末表現に注目することをおさえる。</p> <p>・グループで読み合い、事例の内容ではなく、筆者の考えがまとめられているかアドバイスさせる。</p> <p>◆文章の構成と筆者の考えの中心を捉え、要旨をまとめている。</p> <p>・自分の経験・体験と文章に対する「共感」「納得」「疑問」などを手がかりに、筆者の考えに対する自分の考えをまとめさせる。</p>	<p>・「きく」ボタンから朗読を聞き、本文の大体の内容を捉えられるようにする。(③) (朗読スピードは「はやさ」ボタンから変更可能)</p>  <p>・「マイ黒板」を使って本文を抜き出し、大切な言葉やそれぞれのまとまりの関係について確認する。(④⑤)</p>  <p>・動画資料を見て日本語・中国語・韓国語の言葉の範囲の違いを確かめる。(⑥)</p> 

⑦ 自分の考えをグループで交流させる。

◇自分の考えとの共通点や相違点を意識しながら聞き合い、考えを広げさせるようにする。
◆文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。

・「漢字フラッシュカード」で、新出漢字の確認をする。
(⑬～⑰)




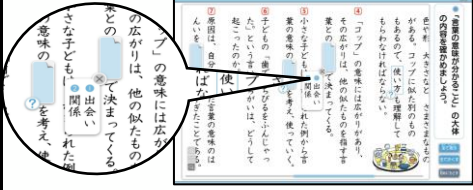

★3時の指導案

【本時のめあて】

文章を内容のまとまりごとに整理し、内容を捉えて文章構成について考えることができる。

【評価】

文章の内容を整理する活動を通して内容を捉え、文章構成について考えている。

学習活動	◇指導上の留意点 ◆評価	デジタル教科書の活用例 (数字は学習活動の番号)
<p>①前時までの学習をふり返り、学習の見直しをもたせる。</p> <p>・論説文の文章の構成について確認する。</p> <p>・本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>文章の内容に注目して「初め・中・終わり」のまとまりに分けよう。</p> </div>	<p>◇「初め・中・終わり」の構成や、それぞれのまとまりにどのようなことが書かれていることがあるのか再確認する。</p>	<p>・「見立てる」で確認した文章の組み立てをふり返る。(①)</p> 
<p>②言葉の意味クイズを行う。</p> <p>③本文の朗読を聞き、段落構成を確かめる。</p> <p>④ワークシートに大事な言葉を書き込みながら本文の大体の内容を捉える。</p> <p>⑤本文の内容に着目しながら、「初め・中・終わり」の三つの構成に分ける。</p> <p>⑥「中」の内容を事例のまとまりごとに分ける。</p>	<p>◇クイズを通して言葉の意味の広がりや本文で例示される内容について興味をもたせ、学習へと繋げていくようにする。</p> <p>・クイズを通して「コップ」という一つの言葉が表す言葉の広がりについて考えさせる。</p> <p>◇「Tサポート」のワークシートを活用し、大切な言葉に着目しながら本文の大体の内容を捉えさせるようにする。内容把握が難しい場合、二択を表示することで捉えやすいようにする。</p> <p>◇ワークシートや教科書の内容を確認し筆者の考えが述べられている部分を探すことで、「初め・中・終わり」に分けられるようにする。</p> <p>・文頭の言葉にも注目して段落同士のつながりを意識させるようにする。</p> <p>◇「中」で挙げられている事例に着目し、それぞれの段落の内容のまとまりを考えさせる。</p> <p>・冒頭の〈言葉の意味クイズ〉と「中」の内容が一致していることを示し、それをもとにまとまりを捉えられるようにする。</p> <p>◆文章の内容を整理する活動を通して内容を捉え、文章構成について考えている。</p>	<p>・「ワーク」〈言葉の意味クイズ〉を提示し答えを考えさせる。(②)</p>  <p>・「大きく」ボタンから朗読を聞き、本文の大体の内容を捉えられるようにする。(③) (朗読スピードは「はやさ」ボタンから変更可能)</p> <p>・「ワーク」の〈大体の内容を確かめましょう。〉とTサポートのワークシートを使って捉えられるようにする。(？マークを押すと二択が表示される)(④)</p>  <p>・「ワーク」〈文章の組み立てを確かめましょう。〉で各段落の文頭を提示し、書き込みながら文章の構成を確認する。(⑤⑥) (「筆者の考え」や「事例」などのスタンプが用意されている)</p> 
<p>⑦本時の学習をふり返る。</p> <p>・「漢字フラッシュカード」を行う。</p>	<p>◇本時を振り返り、次時ではそれぞれのまとまりの役割や、関係について学習することを伝える。</p>	<p>・「漢字フラッシュカード」で、新出漢字の確認をする。(⑦)</p> 